

学校給食費への自治体独自補助

(2020年愛知自治体キャラバンまとめ)

- ①なんらかの補助を実施しているのが15市町村(31%)。
 ②新たに豊根村が完全無償化。
 ③大口町が半額補助。安城市・岩倉市が第3子以降無償化。岡崎市が4月分を無償化。
 ④9市町村が1食あたりまたは1月あたりの補助を実施。
 ⑤豊明市は材料費の10%を公費負担。

市町村名		学校給食費の市町村独自補助・減免措置	
		実施	実施内容
	合計	15	
1	名古屋市		
2	豊橋市		
3	岡崎市	○	4月分を無償化。2014年4月の消費税増税分3%を公費負担
4	一宮市		
5	瀬戸市		
6	半田市		
7	春日井市		
8	豊川市		
9	津島市	○	1食あたり15円を補助
10	碧南市		
11	刈谷市		
12	豊田市	○	地産小麦使用の場合1食あたり5円、副食代1食あたり10円を補助
13	安城市	○	第3子以降を無償化
14	西尾市		
15	蒲郡市		
16	犬山市		
17	常滑市		
18	江南市		
19	小牧市		
20	稲沢市		
21	新城市		
22	東海市		
23	大府市		
24	知多市		
25	知立市		
26	尾張旭市		
27	高浜市		
28	岩倉市	○	第3子以降を無償化(義務教育期間にある児童生徒を3人以上養育している世帯)
29	豊明市	○	材料費に10%市費投入
30	日進市		
31	田原市		
32	愛西市	○	1食あたり10円を補助
33	清須市		
34	北名古屋市		
35	弥富市		
36	みよし市		
37	あま市	○	1食あたり10円を補助
38	長久手市	○	1食あたり20円+地産地消推進負担1円を補助
39	東郷町	○	2019年10月から1食あたり20円値上げし、その20円分を補助 2020年4月から給食費の定額制を導入しており、実食数計算の給食費と定額制の差額分を補助
40	豊山町		
41	大口町	○	半額補助
42	扶桑町		
43	大治町	○	1月あたり200円を補助
44	蟹江町	○	1食あたり30円を補助
45	飛島村	○	1月あたり600円を補助
46	阿久比町		
47	東浦町		
48	南知多町		
49	美浜町		
50	武豊町		
51	幸田町		
52	設楽町		
53	東栄町		
54	豊根村	◎	全児童生徒の給食費を完全無償化